

「慢性期入院医療の包括評価に関する平成16年度調査」について
～平成16年度中間報告～

平成16年11月
診療報酬調査専門組織慢性期入院医療包括評価調査分科会長
池上直己

- 当分科会は、中央社会保険医療協議会基本問題小委員会の付託をうけ、今年度、下記の日程により、慢性期入院医療の包括評価に関する調査の具体的な調査設計について検討を行い、別紙の調査を実施することが妥当であるとの結論を得たので報告する。

【検討の日程】

7月8日

- ・昨年度分科会における審議の整理
- ・慢性期入院医療の包括評価調査の具体的な調査設計について（1）

7月30日

- ・慢性期入院医療の包括評価調査の具体的な調査設計について（2）

8月27日

- ・慢性期入院医療の包括評価調査の具体的な調査設計について（3）

（別紙）慢性期入院医療の包括評価に関する平成16年度調査の調査設計について

慢性期入院医療の包括評価に関する平成16年度調査の
調査設計について

1. 調査の目的

- 療養病棟等に入院している慢性期入院患者に係る患者特性及びサービス提供の実態を把握し、また、同一の患者特性調査票を用いて、慢性期入院医療の患者像及び分布の把握を行い、中央社会保険医療協議会における療養病棟等における慢性期入院医療の病態、日常生活動作能力（ADL）等に応じた包括評価に関する基礎資料を提供することを目的とする。

2. 調査対象病棟

- 慢性期入院医療の患者像等を適切に評価するために、下記の病棟を中心として、患者特性調査、コスト調査、タイムスタディー等を実施する。
 - ・ 医療保険療養病棟
 - ・ 介護保険療養病棟
 - ・ 特殊疾患療養病棟（1、2）
 - ・ 一般病棟入院基本料Ⅱ群の3を算定している一般病棟
- 一貫した調査票で患者像を把握し、医療機能の分化を適切に評価するために、上記病棟に加え、下記の病棟において患者特性調査のみを実施する。
 - ・ 回復期リハビリテーション病棟

3. 調査票

(1) 患者特性調査票

- 慢性期入院医療の患者像を適切に把握できる調査項目とすることを目的として、過去に実施された実績のある調査における調査項目を整理した下記の項目を調査項目とする。

<おもな調査項目>

(患者特性に関する項目)

年齢、入院期間、要介護認定取得の有無、問題行動、ADL、痴呆、疾患、病状や栄養状態の程度 等

(医療提供に関する項目)

治療、処置、リハビリテーション実施の状況、薬剤使用の状況 等

(2) コスト調査票、タイムスタディー調査票等

- 過去に実施された実績のある調査における調査を参考として作成した調査票に基づき実施する。
- タイムスタディーについては、自記式とする。

4. 患者特性調査に係る調査期間・調査間隔

- タイムスタディー実施日に入院している全ての患者を調査対象として患者特性調査を行う。患者特性調査は、タイムスタディー実施日を基準日とし、その前後3日以内実施して調査票に記入する。(タイムスタディーを実施しない調査対象病棟においては、設定された調査基準日に入院している全ての患者を調査対象として患者特性調査を、調査基準日の前後3日以内に行う。)
- 新規入院患者(患者特性調査の調査日に入院していた患者のうち調査日からさかのぼって2週間以内入院した患者)については、上記の調査基準日から2週間後に患者特性調査を再度実施する。

平成16年度実施予定の医療機関のコスト等に関する調査について
～診療報酬調査専門組織・医療機関のコスト調査分科会 報告～

平成16年11月17日
分科会長 田中 滋

1. 今年度の開催状況について

本分科会は、中央社会保険医療協議会・診療報酬基本問題小委員会の付託を受け、医療機関のコストや機能等を適切に反映した総合的な評価の観点から、医療機関のコストに関する調査研究の現状あるいは医療機関のコストに関する諸問題や個別のコストに関する問題をテーマとした審議を行い、今後の医療機関の運営や施設に関するコスト等の調査の必要性及び方向性などについて、平成15年度から、検討を進めてきた。

今年度においては、これまで3回にわたり以下のとおり本分科会を開催し、本分科会における今年度調査項目を検討・確定させ、医療機関のコストに関する調査研究の今年度調査の方向性や個別のコストに関する調査設計等について検討を行ってきており、これらの調査のうち一部の調査は実施してきた。

- (1) 第4回 平成16年7月5日(月)
- (2) 第5回 平成16年9月28日(火)
- (3) 第6回 平成16年11月8日(月)

2. 今年度の医療機関のコスト等に関する調査について

本分科会における今年度の調査項目は、以下のとおり。(調査概要は別添参照)

- (1) 診断群分類を活用した医療サービスのコスト推計に関する調査研究
(DPCコスト調査研究)
- (2) 医療機関の部門別収支に関する調査研究
- (3) 入院時食事療養費に関するコスト調査(実施中)
- (4) 訪問看護ステーションに係るコスト調査
- (5) 薬局コスト調査

(別添)

平成16年度 診療報酬調査専門組織・医療機関のコスト調査分科会における調査項目等について

調査項目	目 的	調査内容等	今後のスケジュール
1 診断群分類を活用した医療サービスのコスト推計に関する調査研究 (DPCコスト調査研究)	○ DPC別コストデータからコストを把握し、将来の診療報酬体系の設計に役立つ基礎データを作り、今後のコスト計算の環境整備を行うものである。したがって、この研究の成果は、調査対象医療機関毎のコストデータを公表するために使用するものでなく、標準的な尺度を検討するために活用するものである。	○ 調査対象病院 ・7月から10月までの退院患者に係る調査を実施している病院のうち、調査協力を得られる病院 ○ 調査期間 ・複数月(4ヶ月程度) ○ 調査項目 ・診療科別医師数、所属別人員数、業務実態別人員数、材料費、賃借料、委託費、減価償却費、延べ患者数、面積・病床数、収益・費用(月次損益計算書)、入院点数・回数、保険・保険別点数等	○ 11月下旬～12月上旬 ・データ収集に関する説明会の実施 (DPC調査事業参加施設) ○ 12月下旬～2月末 ・参加施設への調査票送付及び回収 ○ 3月 ・分析と調査結果の検討(ヒアリングを含む)
2 医療機関の部門別収支に関する調査研究	○ 調査対象病院から実際の収益・費用データ等を収集し、共通ルール等に基づき入院・外来部門、中央診療部門などの部門別・病棟別・診療科別のコストを把握するための環境整備を行うものである。	○ 調査対象病院 ・10病院程度 (選定基準) ・診療科数が3以上の急性期の病院とし、病床規模を考慮して選定(予定) ○ 調査内容 ① 入院・外来別、病棟・診療科別等のコスト分析に係る調査	○ 11月中旬 ・調査対象病院の選定 ○ 11月下旬 ・調査票送付 ○ 12月中旬～ ・部門別設定等の検討 ○ 1月～3月上旬 ・集計・分析

調査項目	目的	調査内容等	今後のスケジュール
		<ul style="list-style-type: none"> ② 直課コスト・配賦コストの設定及び配賦コストの配賦基準の設定等に係る調査 ③ 中央診療部門における標準的な費用に関する調査（手術・検査・画像診断部門に配賦された費用を各診療科に配賦する際の各部門単位別の等価係数の設定等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月下旬 <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果の取りまとめ
<p>3 入院時食事療養費に関するコスト調査（実施中）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病院における入院時食事療養費に関するコスト等の実態を把握し、今後の入院時食事療養費に係る単価等の在り方に関する調査等に向けた基礎資料を得るものである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査対象医療機関 <ul style="list-style-type: none"> ・社会保険による診療を行っている全国の病院（特定人のための閉鎖的なもの、原爆病院及び自衛隊等の特殊病院等は除く） ① 入院患者給食アンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> ・955病院 ② 給食部門の光熱水量の実測調査 <ul style="list-style-type: none"> ・10病院 ○ 調査内容 <ul style="list-style-type: none"> ① 入院患者給食アンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> ・給食部門における収支状況及び入院患者1日当たりの食事単価等を調査 ・入院患者給食に係る委託形態の状況及び給食部門の費用と他部門の費用との区分方法の状況を調査 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7月下旬 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査票送付（提出期限は8月末） ○ 8月～ <ul style="list-style-type: none"> ・実測メーターの設置工事 ○ 9月～ <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の集計・分析等 ・実測調査（段階的に実施） ○ 12月上旬 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査における速報値結果の取りまとめ ○ 3月 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査及び実測調査結果の取りまとめ

調査項目	目的	調査内容等	今後のスケジュール
		② 給食部門の光熱水量に係る実測調査 ・病院全体の電気、ガス、水道の使用量に対する給食部門の使用量の比率等を調査	
4 訪問看護ステーションに係るコスト調査	○ 訪問看護ステーションの施設運営に係るコスト及び医療ニーズの高い重症者の訪問看護に係るコストの実態を把握し、医療保険、介護保険の機能分担の在り方と在宅療養を推進するための基礎資料を得るものである。 ○ 訪問看護ステーションにおける利用者が使用する頻度が高い衛生材料・医療器材等の供給状況及びそれらに関連する課題等について検討するための基礎資料を得るものである。	○ 調査対象機関等 ① 訪問看護ステーション ・約1,000ヶ所 ② 医療保険の重症者管理加算を算定する患者 約5,000人 ③ 介護保険の特別管理加算を算定する患者 約10,000人 ○ 調査内容 ① 医療ニーズの高い重症者の訪問看護に係るコスト調査 ・訪問看護ステーションの収支状況、訪問看護の実施体制（従事者数、勤務時間等）、医療保険の重症者管理加算及び介護保険の特別管理加算を算定している患者数及びその加算内容等を調査 ② 衛生材料・医療器材等に関する調査 ・患者1人1月当たりの衛生材料・医療器材等の量、種類、単価、入手方法、自己負担額等・訪問看護ステーションと衛生材料等を提供する医療機関との連携状況等を調査	○ 11月 ・調査票送付 ○ 2月～3月 ・集計・分析等 ○ 3月下旬 ・調査結果の取りまとめ

調査項目	目的	調査内容等	今後のスケジュール
<p>5 薬局コスト調査</p>	<p>○ 保険薬局の施設運営に係るコスト及び調剤コストの実態を把握し、調剤技術料の在り方について検討するための基礎資料を得るものである。</p>	<p>○ 調査対象保険薬局 ・ 全国の保険薬局</p> <p>① 施設運営コスト調査 ・ 約1,200薬局</p> <p>② 調剤コスト調査 ・ 約20薬局</p> <p>○ 調査内容</p> <p>① 施設運営コスト調査 ・ 平成16年10月1ヶ月分の収支状況、開局日数・開局時間、処方せん受付枚数、備蓄医薬品数、廃棄医薬品数、医薬品の回転率などを調査</p> <p>② 調剤コスト調査 ・ 1処方せんに係る調剤毎に、調剤内容、処方せん受付・確認、薬袋準備、調剤、調剤後の監査などに要した時間などを調査</p>	<p>○ 11月 ・ 施設運営コスト調査票送付</p> <p>○ 12月～1月 ・ 調剤コストの現地調査</p> <p>○ 1月～ ・ 施設運営コスト調査の集計・分析等</p> <p>○ 2月～ ・ 調剤コスト調査の集計・分析等</p> <p>○ 3月 施設運営コスト調査及び調剤コスト調査の調査結果の取りまとめ</p>